

# 「NDF 生命共済制度」のご案内

## 「日本ディスプレイ業団体連合会・生命共済パンフレット」

お申込みの前に、必ずお読みください

### 当共済制度の趣旨

この「日本ディスプレイ業団体連合会（以下、NDF と表記する）」の会員企業の従業員や役員の生活保障を目的とするもので、病気、災害、事故での死亡や高度障害状態の保障と災害・事故で5日以上入院をされた場合も保障します。本制度はNDFが友愛共済協同組合へ委託する「生命共済」及び「シニア生命共済」に基づいて運営されます。

### 1 加入資格（新規加入及び継続加入）

新規加入はNDFの会員企業の従業員及び役員で、申込日現在、健康で通常に勤務されている加入日現在満15歳以上満65歳以下の方。また、加入後の継続加入は満75歳までとなります。

但し、今回の募集に限り新規加入は（2024年10月に新規加入される加入者は）満75歳まで加入可とします。また、他の共済から移行される場合は、移行前のご加入内容（保障額）で本制度に移行いただけます。

### 2 保障内容と月額掛金

#### 基本コース（年齢範囲：満15歳以上、満65歳以下）

口数	保障内容							共済掛金			
	死亡共済金（高度障害）		後遺障害共済金		傷害入院共済金			月額		半年額	
	病気死亡	傷害死亡	（第2級～第6級）		1日当たり						
1口	100万円	200万円	70～10	万円	1,500円	円	400円	円	2,400円	円	
2口	200万円	400万円	140～20	万円	3,000円	円	800円	円	4,800円	円	
3口	300万円	600万円	210～30	万円	4,500円	円	1,200円	円	7,200円	円	
4口	400万円	800万円	280～40	万円	6,000円	円	1,600円	円	9,600円	円	
5口	500万円	1,000万円	350～50	万円	7,500円	円	2,000円	円	12,000円	円	
6口	600万円	1,200万円	420～60	万円	9,000円	円	2,400円	円	14,400円	円	
7口	700万円	1,400万円	490～70	万円	10,500円	円	2,800円	円	16,800円	円	
8口	800万円	1,600万円	560～80	万円	12,000円	円	3,200円	円	19,200円	円	
9口	900万円	1,800万円	630～90	万円	13,500円	円	3,600円	円	21,600円	円	
10口	1,000万円	2,000万円	700～100	万円	15,000円	円	4,000円	円	24,000円	円	

★選択できる口数は15歳～60歳は1口～10口、61歳～65歳は1口～5口となります。

#### 継続コース（年齢範囲：満66歳以上、満75歳以下）

継続加入：66歳～70歳の加入者で、1口～2口から選択下さい。

1口	100万円	200万円	70～10	万円	1,500円	円	800円	円	4,800円	円
2口	200万円	400万円	140～20	万円	3,000円	円	1,600円	円	9,600円	円

継続加入：71歳～75歳の加入者で、1口～2口から選択下さい。

1口	100万円	200万円	70～10	万円	1,500円	円	1,000円	円	6,000円	円
2口	200万円	400万円	140～20	万円	3,000円	円	2,000円	円	12,000円	円

- \*掛金は役員、従業員ともその年齢範囲内の方は男女一律です。
- \*死亡共済金の受取人は原則ご遺族様となります。(戸籍上の配偶者、二親等以内の法定相続人等)
- \*傷害入院共済金は継続した5日以上入院された場合、1日目からお支払いします。(上限120日)
- \*傷害入院共済金の支払い日数は1入院あたり120日を限度とし、通算して180日をもって限度とします。

### 3 保障期間及び効力発生日

- (1) 毎年4月1日(更新日)から翌年の3月31日の1年間で、以後1年ごとに更新します。
- (2) 中途加入は10月1日から翌年の3月31日の期間で、以後1年ごとに更新します。
- (3) お申込書の送付・掛金の入金後、加入日(初回は2024年10月1日)の午前0時より、効力が発生します。
- (4) 加入者が脱退される場合は「友愛共済協同組合・共済係(以下、共済係と表記する)」までお申し出ください。  
(期中で脱退される場合は、掛金払込期間終了後、脱退となります。)

### 4 新規加入及び追加加入(中途加入)

- (1) 新規加入及び追加加入は毎年4月1日と10月1日に加入となります。(更新日は毎年4月1日)  
その場合は、前月20日までにお申込み及び掛金の払い込みを完了して頂きます。
- (2) 基本コースに6口以上加入されている共済加入者が更新日時時点で満61歳に達した場合は、加入口数を5口以下に変更し、継続加入することができます。(共済金額を増額することはできません。)
- (3) 基本コースに加入されている共済加入者が更新日時時点で満66歳に達した場合は、継続コースに変更し、満70歳まで継続加入することができます。更に満71歳時点で継続を希望される場合は、満75歳まで継続加入することができます。(それぞれ掛金は変わります。)

### 5 申込み方法

別紙申込書(NDFのホームページに掲載しています。)に必要事項を記入・押印の上、共済係まで提出ください。

### 6 掛金の払込方法

- (1) 掛金は半年払いです。(NDF事務局の指定口座へ振込をお願いします。)
- (2) 掛金の振込は3月・9月です。
- (3) 申込書受付、掛金払込お支払い確認後に加入者名簿をNDF事務局よりお送りします。

### 7 共済金支払事由(保障内容)

- (1) 病气死亡共済金: 共済加入者が保障期間中に疾病を原因として死亡した場合にお支払いします。
- (2) 高度障害共済金: 共済加入者が保障期間中に疾病を原因として「別表1」に定める高度障害状態に該当した場合にお支払いします。
- (3) 傷害死亡共済金: 共済加入者が保障期間中に不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故日から起算して180日以内に死亡した場合にお支払いします。
- (4) 後遺障害共済金: 共済加入者が保障期間中に不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故日から起算して180日以内に「別表3」の障害状態に該当した場合にその割合に応じてお支払いします。
- (5) 傷害入院共済金: 共済加入者が保障期間中に不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故日から起算して180日以内にその障害の治療を目的として、日本国内の病院・診療所に継続して5日以上入院をした場合、1日目から120日を限度にお支払いします。

## 8 配当金

この生命共済制度には、配当金はございません。

## 9 脱退及び解約返戻金

ご加入後に脱退される場合は、共済係にご連絡ください。なお、解約返戻金はございません。

## 10 告知義務について

- (1) 告知日現在の健康状態及び過去の傷病による入院治療履歴を、申込者様に所定の申込書で告知して頂きます。
- (2) 本共済加入の申込を承諾する要件として、その告知内容が引受の基準を満たす場合とします。したがって、故意または重大な過失によって事実を告知されなかったり、事実と異なる告知をされた場合には、ご加入が解除されたり、共済金をお支払できない場合があります。また、すでに共済金をお支払している場合、その共済金を返還していただく場合がございます。

## 11 共済金のご請求の手続について

給付金等支払い事由が発生したときは、このホームページに掲載されている「共済金請求の流れ」を確認の上、速やかに共済係にご連絡ください。ご連絡頂いた後、「共済金請求の流れ」に沿って、共済金請求書類を友愛共済協同組合宛にお送りください。

## 12 掛金の税務取り扱いについて

この掛金は会員企業が掛金を負担する場合は福利厚生費として損金算入できます。

### <お問い合わせ先>

\* 「NDF 生命共済に関する問い合わせ」とお知らせください。

**「友愛共済協同組合・共済係」**

TEL 03-3634-7858 FAX 03-6908-7611

Mail [yuai-k@abeam.ocn.ne.jp](mailto:yuai-k@abeam.ocn.ne.jp)

お問合せ受付時間：平日 10：00～17：00

「別表 1」 高度障害共済金の支払い対象となる高度障害状態

1. 両眼の視力を全く永久に失ったもの
2. 言語または咀嚼の機能を全く永久に失ったもの
3. 中枢神経系または精神に著しい障害を残し、終身常に介護を要するもの
4. 胸腹部臓器に著しい障害を残し、終身常に介護を要するもの
5. 両上肢とも、手関節以上で失ったか、またはその用を全く永久に失ったもの
6. 両下肢とも、足関節以上で失ったか、またはその用を全く永久に失ったもの
7. 1上肢を手関節以上で失い、かつ1下肢を足関節以上で失ったか、またはその用を全く永久に失ったもの
8. 1上肢の用を全く永久に失い、かつ1下肢を足関節以上で失ったもの

備考

1. 「常に介護を要するもの」

「常に介護を要するもの」とは、食物の摂取・排便・その後始末、および衣服着脱・起居・歩行・入浴のいずれもが自分ではできずに常に他人の介護を要する状態をいいます。

2. 眼の障害（視力障害）

- (1) 視力の測定は、万国式視力表により、1眼ずつ、矯正視力について測定します。
- (2) 「視力をまったく永久に失ったもの」とは、視力が0.02以下になって回復の見込みのない場合をいいます。
- (3) 視野狭さくおよび眼瞼下垂による視力障害は視力を失ったものとはみなしません。

3. 言語またはそしゃくの障害

- (1) 「言語の機能をまったく永久に失ったもの」とは、次の3つの場合をいいます。
  - ① 語音構成機能障害で、口唇音、歯舌音、口蓋音、こう頭音の4種のうち、3種以上の発音が不能となり、その回復の見込みのない場合
  - ② 脳言語中枢の損傷による失語症で、音声言語による意思の疎通が不可能となり、その回復の見込みのない場合
  - ③ 声帯全部の摘出により発音が不能な場合
- (2) 「咀嚼の機能をまったく永久に失ったもの」とは、流動食以外のものは摂取できない状態で、その回復の見込みのない場合をいいます。

4. 上・下肢の障害

「上・下肢の用をまったく永久に失ったもの」とは、完全にその運動機能を失ったものをいい、上・下肢の完全運動麻痺、または上・下肢においてそれぞれ3大関節（上肢においては肩関節、ひじ関節および手関節、下肢においては股関節、ひざ関節及び足関節）の完全強直で、回復の見込みのない場合をいいます。

「別表 2」 告知の対象となる疾病・傷病・投薬の抜粋

- ①悪性腫瘍（ガン・肉腫等）
- ②消化器疾患（胃潰瘍、慢性胃炎、炎症性腸疾患、十二指腸潰瘍、慢性肝炎、肝硬変、慢性膵炎、胆石症等）
- ③循環器疾患（狭心症、心筋梗塞、不整脈、高血圧症等）
- ④呼吸器疾患（気管支喘息、間質性肺炎、肺線維症、肺結核、肺気腫等）
- ⑤神経・筋疾患（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血、髄膜炎、てんかん、筋炎等）
- ⑥腎臓・尿路疾患（腎炎、ネフラーゼ、尿路結石等）
- ⑦代謝・内分泌疾患（糖尿病、痛風、甲状腺機能亢進（低下）症等）
- ⑧精神疾患（総合失調症、アルコール依存症等）
- ⑨運動器疾患（骨髄炎、椎間板ヘルニア、変形性膝関節症等）
- ⑩血液疾患（慢性貧血、白血病等）
- ⑪アレルギー性疾患及び膠原病（リウマチ、ベーチェット病等）
- ⑫耳鼻咽喉及び眼疾患（中耳炎、メニエール病、白内障、緑内障等）
- ⑬女性疾患（子宮筋腫、卵巣腫瘍等）

「投薬」の対象例

- ①血圧降下剤
- ②抗潰瘍剤
- ③鎮痛剤
- ④睡眠剤
- ⑤抗糖尿病剤
- ⑥精神安定剤
- ⑦覚醒剤・違法ドラッグ
- ⑧麻薬・大麻

「別表3」

等級	身体障害	給付割合
第1級	1 両眼の視力を全く永久に失ったもの	傷害死亡共済金×100%
	2 言語またはそしゃくの機能を全く永久に失ったもの	
	3 中枢神経系・精神または胸腹部臓器に著しい障害を残し、終身常に介護を要するもの	
	4 両上肢とも、手関節以上で失ったかまたはその用を全く永久に失ったもの	
	5 両下肢とも、足関節以上で失ったかまたはその用を全く永久に失ったもの	
	6 1上肢を手関節以上で失い、かつ、1下肢を足関節以上で失ったかまたはその用を全く永久に失ったもの	
	7 1上肢の用を全く永久に失い、かつ、1下肢を足関節以上で失ったもの	
第2級	8 1上肢および1下肢の用を全く永久に失ったもの	傷害死亡共済金×35%
	9 10手指を失ったかまたはその用を全く永久に失ったもの	
	10 1肢に第3級の13から15までのいずれかの障害を生じ、かつ、他の1肢に第3級の13から15まで、または第4級の21から25までのいずれかの身体障害を生じたもの	
	11 両耳の聴力を全く永久に失ったもの	
第3級	12 1眼の視力を全く永久に失ったもの	傷害死亡共済金×25%
	13 1上肢を手関節以上で失ったかまたは1上肢の用もしくは1上肢の3大関節中の2関節の用を全く永久に失ったもの	
	14 1下肢を足関節以上で失ったかまたは1下肢の用もしくは1下肢の3大関節中の2関節の用を全く永久に失ったもの	
	15 1手の5手指を失ったかまたは第1指(母指)および第2指(示指)を含んで4手指を失ったもの	
	16 10足指を失ったもの	
	17 脊柱に著しい奇形または著しい運動障害を永久に残すもの	
第4級	18 両眼の視力にそれぞれ著しい障害を永久に残すもの	傷害死亡共済金×15%
	19 言語またはそしゃくの機能に著しい障害を永久に残すもの	
	20 中枢神経系・精神または胸腹部臓器に著しい障害を残し、終身常に日常生活動作が著しく制限されるもの	
	21 1上肢の3大関節中の1関節の用を全く永久に失ったもの	
	22 1下肢の3大関節中の1関節の用を全く永久に失ったもの	
	23 1下肢が永久に5センチ以上短縮したもの	
	24 1手の第1指(母指)および第2指(示指)を失ったかまたは第1指(母指)および第2指(示指)のうち少なくとも1手指を含んで3手指以上を失ったもの	
	25 1手の5手指の用を全く永久に失ったかまたは第1指(母指)および第2指(示指)を含んで3手指以上の用を全く永久に失ったもの	
	26 10足指の用を全く永久に失ったもの	
27 1足の5足指を失ったもの		
第5級	28 1上肢の3大関節中の2関節の機能に著しい障害を永久に残すもの	傷害死亡共済金×7.5%
	29 1下肢の3大関節中の2関節の機能に著しい障害を永久に残すもの	
	30 1手の第1指(母指)もしくは第2指(示指)を失ったか、第1指(母指)もしくは第2指(示指)を含んで2手指を失ったかまたは第1指(母指)および第2指(示指)以外の3手指を失ったもの	
	31 1手の第1指(母指)および第2指(示指)の用を全く永久に失ったもの	
	32 1足の5足指の用を全く永久に失ったもの	
	33 両耳の聴力に著しい障害を永久に残すもの	
	34 1耳の聴力を全く永久に失ったもの	
	35 鼻を欠損し、かつ、その機能に著しい障害を永久に残すもの	
36 脊柱(頸椎を除く)に運動障害を永久に残すもの		
第6級	37 1上肢の3大関節中の1関節の機能に著しい障害を永久に残すもの	傷害死亡共済金×5%
	38 1下肢の3大関節中の1関節の機能に著しい障害を永久に残すもの	
	39 1下肢が永久に3センチ以上短縮したもの	
	40 1手の第1指(母指)もしくは第2指(示指)の用を全く永久に失ったか、第1指(母指)もしくは第2指(示指)を含んで2手指以上の用を全く永久に失ったか、または第1指(母指)および第2指(示指)以外の2手指もしくは3手指の用を全く永久に失ったもの	
	41 1手の第1指(母指)および第2指(示指)以外の1手指または2手指を失ったもの	
	42 1足の第1指(母指)または他の4足指を失ったもの	
	43 1足の第1指(母指)を含んで3足指以上の用を全く永久に失ったもの	